

季刊

Midorino
Rehabilitation
Hospital

みどり野



あしががフラワーパーク

CONTENTS

- 2P 新年会
- 3P 中学生 職場体験
- 4P 感染勉強会/医療安全推進週間
- 5P アメリカ研修
- 6P 講演会/地域行事
- 7P マルちゃんの独り言⑨
- 8P 医療連携室
病院までのアクセス

vol.

25

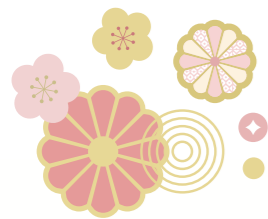


医療法人社団 東京巨樹の会

みどり野リハビリテーション病院

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6-17

<http://www.midorino-hp.jp>



新年会



令和2年1月24日(金)に小田急ホテルセンチュリー相模大野にて新年会を開催致しました。日頃からお世話になっている医療機関やグループ病院、業者様、職員間など、多くの方々にご出席をいただきました。改めて、多くの関係者の皆様によって、病院が成り立っており、支えられていると感じる瞬間でもありました。

院長の「今年は昨年よりも更に良くなるように病院を変えていく」との言葉には職員一同、考えさせられる部分があったのではと思います。

その他、余興や景品抽選会などのイベントを日頃の感謝を込めて企画させていただき、会場は大盛況となりました。

職員一同、より一層、精進して参りたいと思いますので、本年も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

リハビリテーション科 早瀬



令和元年度 医療法人社団 東京巨樹の会
みどり野リハビリテーション病院 新年会



中学生 職場体験

2019年11月26日(火)・27日(水)

11月26・27日に中学生による職場体験が行われ、2日間と短い期間ながらも、多くの職種について学んでいただきました。

毎年、当院では、医療のお仕事に興味を持っている学生さんの職場体験を受け入れており、学生さんから「将来は医療の仕事に就きたい」という明確な夢や目標を感想文に書いていただき、当院の職場体験が少しでも学生さんの将来の夢や目標のきっかけになったことは、嬉しく思いました。

また、職員や患者様からも「若い学生さんがいるんだから自分たちも頑張ろう」などのお言葉もありました。今後も様々な活動や地域のコミュニティを通じて、職員も学んでいきたいと思ひます。

リハビリテーション科 丸山



感染勉強会「ノロウイルス対策について」

2019年11月25日(月)

ノロウイルスの感染経路は接触・飛沫感染と言われています。今回、ハクゾウメディカル様の嘔吐物処理セットを使用し、処理方法を実際に体験しました。いざという時でも冷静に、慌てず行動に移すことができることを学びました。今後も職員全員が感染に対する意識を高めながら、知識や技術の向上に努め、感染勉強会に積極的に参加し、学んでいきます。

リハビリテーション科 早瀬



医療安全推進週間

2019年12月26日(木)～2020年1月7日(火)

今年度も、各部署毎による医療安全の取り組みをポスターにて発表・掲示を行いました。インシデントを起こさない為の工夫や取り組みをご来院いただいた方にも知っていただけるように、大きい文字や写真を用いて各部署、工夫していました。

今後もより一層、医療安全に最善の対策と努力をしていきたいと思えます。

医事課 田中



アメリカ研修

12月5日から12月11日までアメリカ研修に行かせてもらいました。九州からの参加者8名、関東からの参加者10名の合計18名のツアーでした。場所はラスベガスとグランドサークルです。初めてのラスベガスは、勝手なイメージで怖いと思っていました。

しかし、実際に歩いてみるとルートを逸脱しなければ、かなり安全に観光することが出来ました。そして、グランドキャニオンやアンテロープキャニオンなど、圧倒的な大自然の美しさに感動を覚えました。

また、先住民族と白人の侵出の歴史をガイドさんが話してくれました。どんどん水の少ない緑のない荒野に追いやられて暮らしていくことは大変な苦勞だったと思いますが、不便なところで力強く生きる姿に人間の強さを感じました。

看護部 古賀



グランドキャニオン



モニュメント・バレー



ホースシューベンド

講演会

2019年
11/27(水)

運動器疾患治療での安全管理とトラブル

長吉総合病院 理事長 梁瀬 義章 先生

本日、長吉総合病院 理事長 梁瀬 義章先生にお越しいただき、「運動器疾患治療の医療安全とトラブル」についての講演会を開催致しました。医療事故の実例をもとに、事故を起こさないための工夫や改善策などのお話をいただきました。決して医療事故を他人事とは思わず、当院でも未然に事故を防止していくために、今後も努めていきたいと思っております。

総務課 松岡



伏見稲荷大祭

2020年
2/21(金)

今年も当院に隣接している伏見稲荷大神のお祓いに参列致しました。毎年の恒例行事となっており、健康祈願や商売繁盛を中心に、ご神威を得られるようお祈りをしてまいりました。

地域に根差した病院、安心・安全な医療の提供を行うために、本年も精一杯努めていきたいと思っております。

総務課 貫田



9

マルちゃんの独り言



ドライカレー

私は、カレーが大好きです。今回は、そのカレーライスのルーツをたどってみましょう。18世紀にインドから英国に伝わり、明治時代に、日本に伝わったという記述が、「西洋料理指南書」にも記載されているそうです。この書籍に紹介されている作り方は、現在のものとは、大きく違うそうです。食材にカエルや長ネギを使用して作られていたそうです。今のカレーの材料であるジャガイモ、人参、タマネギなどが日本でも生産され、使われるようになりました。その後、カレー粉の普及もあり、大正時代に今のカレーの原型が、できたと考えられているそうです。

カレーは、インド発祥の食べ物といわれていますが、一般的に、インド発祥または同地域の料理に使われている特徴的なスパイスの料理や全般的な事を指すようです。そのようなスパイスが使用されて作られたヨーロッパ系の料理や、東南アジアの料理、または「日本のカレー」のようなものを合わせて「カレー」と呼ばれています。

しかし、世界中で愛されているカレーは、いくつかに分類されます。今回は、カレーの性状により、分類してみましょう。①我々が普段口にする、濃度のついたドロツとしたカレー。②最近その人気が出てきたサラサラしたスープ・カレー。③カレー自体にあまり、液体成分がないドライカレーの3種類に分類ができると考えています。

私は、どの種類も好きですが、最近、横浜のレストランで、ドライカレーを食べる機会がありました。そのお店のマスターが説明してくれたのですが、ドライカレーは、日本が発祥だそうです。その由来は、1919年頃、日本郵船の客船だった「三島丸」の食堂で生まれたそうです。「三島丸」は、当時欧州航路を航行する客船で、その長い船旅に疲れ、食欲不振になってしまった船客が食べやすいように、乗務員のシェフが、考案したのが、挽肉とタマネギや人参などをみじん切りした野菜と炒めて、スープで煮詰めた汁気のないカレーを、出したのが始まりだそうです(諸説あり)。別の説は、客船が嵐などで揺れると、汁気のないカレーは、こぼれてしまうので、ドライカレーにしたという説もあります。ドライカレーは、汁気のないカレー全般を指すようで、喫茶店などでよく見かける、カレーチャーハンやカレーピラフも、ドライカレーの範疇に入るそうです。使用する材料にも決まりはなく、水分量が少ない物を、ドライカレーと呼んでいます。

挽肉カレー：ドライカレーは挽肉と、主にタマネギのみじん切りをよく炒めたものをご飯のうえにのせ、カレー粉を使いご飯を炒めるピラフタイプが多いようです。

横浜のJR関内駅の近くに、南極越冬隊の調理人をされていた篠原さんという方が店長を務める「Mirai」というレストランがあり、そこで食べたドライカレーの「南極カレー」を、食しながら、考えてしまいました。

カレーは、やはり美味しい!



医療連携室

医療連携室では、現在6名体制(看護師1名、ソーシャルワーカー5名)で患者様のサポートをさせていただいております。

患者様やご家族様より入退院に関わるご相談をお伺いし、解決に向けてお手伝いいたします。

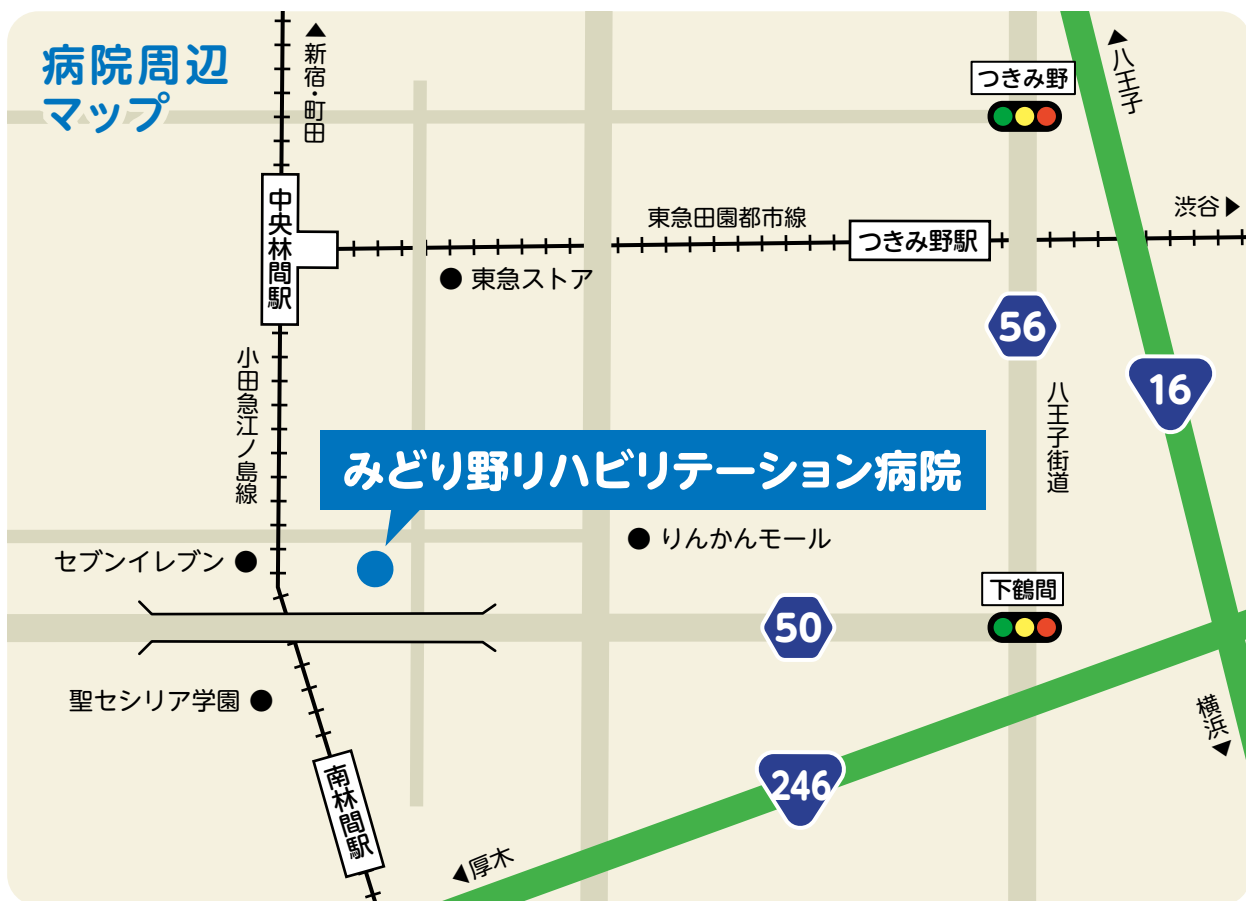
ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。



相談窓口／1階受付

受付時間／9:00～17:00(月曜日～土曜日)

みどり野リハビリテーション病院 医療連携室
(代表) TEL 046-271-1221 FAX 046-271-1220



みどり野リハビリテーション病院 広報誌

季刊 **みどり野** vol. 25



**みどり野リハビリテーション病院
広報委員会**

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間2丁目6-17
TEL 046-271-1221(代表) / FAX 046-271-1220